

令和元年度 県西地区大会発表要旨 (7)

⑧ 各PTAによる紙上発表

足柄・大井PTA

大会パンフレット9ページから19ページに掲載。

県立足柄高等学校

令和元年度 足柄高校PTA交通安全活動報告書

(1) 自転車点検

日時 5月10日(金) 9:00~12:00頃(当日は午後からPTA総会)  
 参加者 PTA役員23名、自転車店から整備士2名  
 内容 ・点検対象は全学年の自転車、約530台。  
 ・2グループに分かれ、タイヤの空気圧やブレーキ、ライトの点検を行い、その場で可能なものについては整備を行った。  
 ・空気圧が低く不適切なものには空気を入れ、ブレーキの利きが不適切なものは調整を行った。  
 ・その場では整備が不可能なものについては、整備を促すために不適切箇所を記した警告書を添付した。  
 反省等 ・自転車通学での安全性を高めることができた。  
 ・点検調整は整備士を中心として行っているが、2名では時間がかかってしまうので、工夫が必要である。

(2) 下校指導

日時 7月2日(火)~7月4日(木)下校時(定期試験の放課後)  
 参加者 3日間でPTA役員のべ40名  
 内容 ・本校周辺の通学経路の危険個所に教員と共に立ち、挨拶をするとともに、安全に注意を払って通学するよう促す。具体的には次の通り。  
 ①正門付近  
 本校の正門から道路に出る所は急な下り坂で、さらに見通しが悪い。自転車一旦停止の立て看板はあるが、なかなか守られていない。  
 下校指導では、自転車を利用している生徒に声掛けをして停止させ、左右を確認してから道路に出るよう促した。  
 ②切り通し交差点  
 正門から200mほど坂を下って平坦になった所に、変形五差路の切通交差点がある。見通しは悪くないが、自動車の通行が多く危険個所といえる。今回は、信号待ちの時に車道にはみ出さないように、また、赤信号になる寸前では次の青信号を持つように、などの声掛けを行った。  
 反省等 ・こちらからの指導には素直に従ってくれるが、PTAや教員がいない時でも交通ルールを守り、安全に注意を払って通学してもらえるようにするための方法を模索したい。

(3) 今後の予定

- \*12月3日(火)~12月5日(木)下校指導2回目
- \*3月18日(木)スクアードストリート式交通安全教室(1・2年生対象)

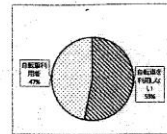
県西地区交通安全大会 資料

大井高校PTA交通安全委員会

大井高校PTAの交通安全に関する取り組み

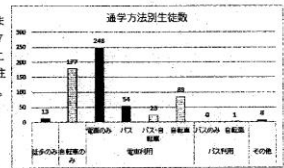
自転車点検について (2019/05/13実施)

1 自転車の利用状況  
 生徒数 607人中  
 自転車を利用しない者 323人  
 自転車利用者 284人  
 ということで、半数近くの生徒が自転車を利用している。  
 (\*それぞれの数字は2019/5/1現在)



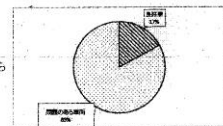
2 通学方法別生徒数

上記自転車利用者の中で、学校まで自転車で通学している者は177人である。今回の自転車点検ではこの177人の内、自転車置き場に駐輪してある自転車を対象に実施した。  
 (\*それぞれの数字は2019/5/1現在)



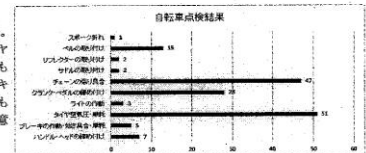
3 点検台数

点検台数 146台中、  
 良好車 25台  
 問題のある車両 121台  
 となり、およそ8割に当たる自転車に何らかの改善点が見つかった。



4 自転車点検結果

点検結果は右のグラフ参照。チェーンのゆるみやタイヤの空気圧といった軽度のものが多かったが、ブレーキ関係など危険に直結するものもあり、それぞれに注意を促すことができた。



⑧ 各PTAによる紙上発表

小田原PTA

小田原高校・安全対策委員会活動報告～県西地区交通安全高校生・PTA大会～  
令和元年11月13日(水)  
南足柄市文化会館

安全対策委員会は小田原高校に五つあるPTA常置委員会の一つで、今年度は13名で活動しています。各学年4～5名の委員が原則3年の任期を務めます。小田高生が安全に安心して学校生活を送れるようバックアップする委員会で、活動の主体は地震などの災害に備えた防災用品の整備になります。交通安全に関連した活動としてはセーフティーカードの配付、通学中の歩きスマホに関する啓発活動が挙げられます。

◎セーフティーカードの配付

小田原高校では自転車による登校が認められていません。小田原駅から徒歩12分と至便な立地である上、駅からの道のりには「百段坂」と呼ばれる石段があるためです。しかし、PTAが実施した交通安全アンケートで、通学時に最寄り駅まで自転車を利用する生徒が約40%、通学時に自転車に乗って人や車にぶつかりそうになるなど事故に繋がる危険性を感じた生徒も37%いるということが分かりました。そこで、安全対策委員会では万が一事故に遭ってしまった時に慌てずに対応できるようセーフティーカードを作成しました。



二つに折ると55×86mmだと  
携行しやすいセーフティーカード▶

セーフティーカードは年度初めに全校生徒にお便りと共に配付しています。「110番で警察を呼ぶ」「大丈夫だと思っても病院で診察を受ける」など事故対策の手順が具体的に7項目挙げられており、相手の氏名や車のナンバーなど後々必要となる情報を書き込めるようになっています。このセーフティーカードは通学時だけでなく、日常生活においても事故に遭った際に活用できるよう定期入れや財布に入れて携帯するよう指導されています。併せて配付するお便りの裏面には自転車点検・整備時のチェック項目のほか4月からの自転車条例の施行、10月からの自転車損害賠償責任保険への加入義務についても記載しています。なお、小田原高校ではこの自転車損害賠償責任についても義務要件を満たすPTA賠償責任保険に全生徒が加入しています。

◎通学中の歩きスマホについて啓発活動を実施

近年、交通安全上問題となっている歩きスマホ。自転車通学が禁止されているためほぼ全員が(小田原駅や自宅から)徒歩通学する小田高生は歩きスマホをしている可能性も高いと考え、全校生徒を対象に歩きスマホに対する意識と実態を探るアンケート調査を行いました。その結果、60%以上の生徒が歩きスマホをしていることが分かりました。しかし、事故などの危険な目に遭った生徒は1割弱と多くないため、危険性は理解しているもののつい歩きスマホをしてしまうという生徒が多いことも明らかになりました。歩きスマホをすることにより事故の被害者だけでなく加害者にもなります。高校の3年間、そしてその先の未来を不慮の事故で奪われることなどないよう安全対策委員会は歩きスマホに関する啓発活動を行いました。具体的には歩きスマホによる事故件数・事故事例の学年掲示板への掲示、一年次生対象の携帯電話教室での注意喚起、PTA主催の一年次生懇談会では保護者にも歩きスマホのアンケート調査結果を報告し、家庭でも声かけをしてもらうよう依頼しました。また、生徒指導用資料の「小田高生活10分ワーク」の「交通ルールとマナー」および「インターネット・SNS」編に歩きスマホの危険性に関する項目を加えてもらいました。一年次生にこの啓発活動の後に再度アンケートをとったところ、前回の調査より歩きスマホの危険性を認識した感想が多く寄せられました。啓発活動は生徒指導担当の先生方と連携して進めています。今後も小田高生が安心して学校生活を送れるよう学校との協力体制を維持していきたいと考えています。



▲平成30年度交通安全大会

この一連の活動は「通学中の歩きスマホについて～気付けてほしい!被害者にも加害者にもなることを～」と題して昨年度(平成30年度)の交通安全大会で発表しました。

◎活動のメインとなる防災倉庫点検について

非常時に全校生徒が三日間校内で過ごすことになったら何がどれくらい必要になるでしょうか?安全対策委員会ではそのような事態を想定して防災用品の整備を進めています。全生徒分の個人用備蓄品の他、毛布、電池や医療品といった物から発電機、マンホールイレまでと防災用品は多岐にわたります。年に1、2回行う倉庫点検では校内14箇所の防災倉庫に分けてしまわれた防災用品の消費期限や数量を確認し、適宜補充しています。小田原高校には全日制だけでなく定時制もあります。また、東日本大震災では帰宅困難者を多く受け入れた経験もあり生徒用以外の県の防災用品も備蓄しています。点検時にはこちらの概容も把握するようにしています。災害がいつ起こるか予測することはできません。より気持ちを引き締めて安全対策委員会の活動を続けていきたいと思ひます。



▲2019年度の倉庫点検の様子

⑧ 各PTAによる紙上発表

小田原城北工業PTA

県西地区交通安全合同会議資料

神奈川県立小田原城北工業高等学校 PTA

【本校における交通安全関連行事(開催済)】

- 4月 自転車置き場誘導(職員)、自転車保険加入(職員)、自転車登録(職員)
- 6月 交通安全推進委員会
  - ・生徒と共に合同会議:交通安全推進委員と共に合同会議を行う
  - ・その後、第1回下校調査:3箇所に分かれ生徒の下校の様子を見る ※詳細は下記参照
- 7月 ヤングライダーズスクール:職員、生徒と共に参加 ※裏面参照
- 10月 第2回下校調査:実施内容は前回同様

【下校調査結果と感想・ふりかえり】

第1回結果

	歩きスマホ	歩きスマホ	自転車付物
正門	16	22	9
セブン前	未確認	未確認	1
オダ100	未確認	5	3
栢山駅	18	24	1
のべ	34	51	14

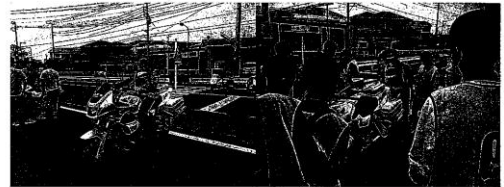
第2回結果

	歩きスマホ	歩きスマホ	自転車付物
正門	62	55	17
セブン前	3	11	4
栢山駅	35	20	7
のべ	100	86	28

- ・第1回は15:35頃より、第2回は15:20より調査開始
- 第2回は、下校ラッシュ時に調査を開始できたため、調査対象が増加
- ・歩きスマホ・歩きスマホ・自転車イヤホンいずれも一定数いる
- なかでも歩きスマホが目立つ。階段や道沿いでの歩きスマホに、ひやっとする場面あり
- ・イヤホンをしている生徒には、こちらの「気をつけてね」の呼びかけが聞こえておらず、不安を感じる
- ・今後は、校内グループ職員とも連携し、校内でも歩きスマホを注意する体制をつくっていきたい
- 各家庭内でのルールやマナーも関係するので、腰を据えて取り組んでいく必要がある

以上

ヤングライダーズスクールに参加した保護者の感想



・今回参加させていただき、生徒たちにとってとても充実した内容だったと思った。ビデオでの講習も大切だが、免許を取って間もない子供たちが今回のように実技講習を通してPOLICEからのワンポイントアドバイスを聞き、また、自ら質問をするなど今まで以上にリラックスしながら安定した走りができるようになったのではと思った。欲を言えば、交通機動隊との質疑応答の時間が少しでも良かったかと感じた。これからも、きちんと交通ルールを守り、事故のないように安定感のある走りを心がけて欲しいと思った。

・中免は教習所で基礎を教わり免許を取得するが、原付は学科試験のみで実技試験がないので、今回は白バイ隊員から指導を受け貴重な体験だったと思う。これからもヤングライダーズスクールを続けた方がよいと思う。

・自分自身今まで指導もなく独学で原付に乗っていたが、今日のような指導を受けてから乗っていただければもっと注意をしながら運転できたのではと思われた。改めて勉強になった。

・ヤングライダーズスクールでは、生徒が真剣に学ぶ姿を見ることができ、また、待ち時間に生徒と会話をするなどのも楽しかった。講習会は、交通事故の恐ろしさを改めて感じ気をつけるようになると思う。実技講習も丁寧に指導していただけるので、多くの生徒や保護者が参加してほしい。今後も続けて欲しい。

・子供が原付免許を取ったが、自転車の延長のような運転に毎日ヒヤヒヤしていた。車であつて行き様子を見ても止まるべきところで止まらずといった感じだった。今日の講習を親子で参加し、左右の確認や一時停止ができるようになり親としてとても嬉しかった。これからも安全には十分に気をつけながら、友達とのツーリングを楽しんで欲しい。

⑧ 各PTAによる紙上発表

小田原東PTA

令和元年 11 月 13 日  
 神奈川県立小田原東高等学校  
 生活委員長 齋沼佐知子

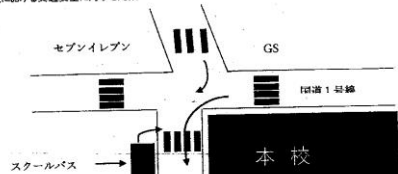
交通安全への取り組み

1 発表の趣旨

1.1 本校の周辺交通環境について

本校は国道 1 号線沿いにあると同時に正門のすぐ前に信号機付きの大きな交差点があります。また、単なる交差点というわけではなく、道路の交わり方がきわめて劇画的であるため、道路いついふいに仕舞い出している本校の塙や樹木が視界を遮って学校側から反対側に伸びている道路の様子や、1 号線の右手が全く見えないうちに非常に危険な状態におかれています。本校は在校生 700 名のうち 4 割近い生徒が自転車通学をしております。毎月 300 台にも及ぶ自転車がある時間帯に集中してこの「真の交差点」ともよぶべき場所を通過しています。また、その時間帯には、スクールバスが立て続けに 5 台到着して、大勢の生徒や歩行者としてこの交差点を渡ります。1 号線から本校側へ曲がって入ってくる車も意外に多く見ていていつどんな事故が生じてもお手前ではないような光景が毎日展開されているのです。

2 本校における交通安全に対する対策



昨年度、今年度と 2 年続けて自転車通学者が登校途中に命にかかわるような大きな事故に遭っています。そこまですでにしろ、本校の場合自転車による事故が以前から数多く生じてきました。学校が行っている交通安全対策は、そういうわけで次のとおり自転車の安全指導が中心となってきました。

5 月 ゴールデンウィーク明けに「交通安全校外指導」

自転車通学者の通学路にある主だった交差点に教員が立って自転車の乗り方について指導します。二人乗り、並列走行、イヤホン、スマホなどのながら運転、歩道を猛スピードで走行、傘さし等を絶対にやらないように指導します。

5 月 PTA による自転車点検

事故の原因になるのは何も危険な走行だけではありません。ルールを守って普通に走っていても、

とっさの場合にブレーキが利かなかったり、タイヤがスリップしたりというように整備不良による事故も実際に多く生じています。

PTA では近所の自転車屋さんに毎年お願いして、いっしょに一台一台全部の自転車を点検します。不備のあるところをチェックし、どういふ状態かどういふ状態かを書いた用紙をホチキスでハンドルのところに止めておきます。それで整備してもらった場合には、それがわかるように記入欄を設けておきます。

6 月 全校生徒対象「交通安全教室」

通常は小田原警察署の交通課の方に来ていただき、主に自転車の正しい乗り方についてお話をいただきます。意外と知らない交通法規の語がでてきたりして大いに勉強になります。事故を実際に再現したビデオ等も必ず毎年見せてもらっています。

※3 年前はランドビグスクエアード「ストレイ」を実施いたしました。実際に自転車に乗っているところをトラックにはねられたりする衝撃的な場面を生徒に見せるのです。さすがにかなりおきな反響がありました。

これはほとんど 1 年を通じてですが、初任職員が正門に二人ずつ立って、歩行者、自転車通学者の安全指導を行っております。最初にも言ったような環境上の問題がありますので、事前に危険を回避するための指導というのがどうしても必要になります。

今年度は PTA による自転車点検を 11 月にも計画しています。

自転車点検集計表(まとめ)2019.06.12

ステッ カー	ハンド ル	前灯・ 尾灯	チエ ン	チエ ンカバ ー		ベル	タイヤ		かご	スポ ーク	ブレ ーキ	其 の 他	良 好 車	合 計				
				な し	な し		ツ ル ッ ル	ツ ル ッ ル										
1 年				1	8		2	4				1	2	54	73			
2 年	2	1	2	6	27		2	1	5	6	1	3	2	6	35	99		
3 年				15	27		4	12	1	25	1	6		15	4	27	136	
合 計	2		1	0	22	62	2	7	21	1	31	2	9	2	22	6	116	308

令和元年度 県西地区大会発表要旨 (11)

⑧ 各PTAによる紙上発表

西湘・山北・吉田島PTA

西湘高校の交通安全の取り組みについて

神奈川県立西湘高等学校 PTA 厚生委員会

当校では、全校生徒の約3割ほどの生徒が自転車通学をしています。そこで、毎年5月のゴールデンウィークが明けたころに「自転車点検のお知らせ」を配布しています。修理代は自己負担のため、当日の修理代金表、修理場所等案内しています。当日は、神奈川県自転車組合小田原支部の方々に協力いただき、自転車の安全点検を無料で実施しています。不具合や修理が必要な自転車の持ち主には、下校時に声をかけて、その場で修理をしています。

今年度は5月22日に実施し、結果は下記になります。

当日点検した台数：235台 良好率：145台 整備不良車：90台

整備不良として多かったのが、チェーンの緩みや、ブレーキの効き具合でした。当日修理できなかった生徒には近日に修理をするよう指導しました。

以上



-17-

神奈川県立山北高等学校

令和元年度 地区交通安全 PTA 報告書

5月9日(木)



保護者およそ25名が朝の登校時間前に学校に集まり登校時安全指導を実施した。保護者が、生徒の登校時に危険箇所を立てて自転車乗車指導を行うとともに、危険箇所の再確認を行った。

また、保護者が生徒の利用する電車で同乗し、生徒の乗車マナーに対する指導を行った。

5月16日(木)

自転車マナーアンケートを実施。  
11月にアンケートによる指導経過の確認を行う。

6月2日(日)

保護者およそ20名が学校に集合しボランティアの生徒と、学校周辺の道路に設置されているミラーの清掃作業を行った。



9月7(土)、8日(日)

文化祭の開催に合わせて、自転車の乗り方マナーのポスターを掲示して、生徒に交通ルールの徹底を呼びかけた。

また、バザーや販売を行い、その収益金を全額生徒会に寄付し、その一部を交通安全対策に使うよう依頼した。

10月5日(土)

今年度の交通安全取り組みの一貫として、スケアドストレートの具体的な実施についての会議を行った。

-18-

神奈川県立吉田島高等学校 PTA

令和元年度 交通安全運動の取り組みについて

交通安全運動として特別な取り組みは実施していません。

本校PTAが定期的に実施している活動とおして交通安全や生活指導への取り組みとして生徒への働きかけに心がけています。

- ・挨拶運動・・・4月始業式(実施済)
- 8月夏休み明け始業時(実施済)
- 1月冬休み明け始業時



挨拶運動を通じて、登校時の交通マナーの様子を確認、注意、指導の実施。

- ・タイヤの状態がよくない自転車の利用
- ・スマホを利用しながらの自転車
- ・一時停止の安全確認の不履行
- ・両耳をイヤホンで塞いだ形での歩行

これらが目立つので、改善の工夫が必要に感じている。

- ・地域貢献活動・・・7月地域貢献活動(雨天のため中止)
- 10月クリーン作戦
- 12月地域貢献活動
- 3月地域貢献活動

地域貢献活動として通学路の清掃活動とともに、登下校時の様子を確認、通学路の危険箇所を把握して注意を促す。

- ・通学路には道路幅がせまく、見通しの悪い箇所が多く注意が必要
- ・狭い通学路に広がって通行する

今後の課題

- ・登下校時のマナーの徹底
- ・自転車の安全整備確認の重要
- ・危険箇所の安全な通行対策

このような課題にどのように取り組むべきか検討して、今後の交通安全運動へとつなげていきたい。

-19-